

渡辺議員（広志会）

令和4年12月13日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）議事録や記録のない案件について

公募型プロポーザルによる契約の過程について、弁護士の言い回しからは、選定委員会の議事録や、自己評価点の理由についての記録を残していないことが常習化していることが示唆されているようにも見受けられるが、今回の調査対象以外の公募型プロポーザル契約に関し、議事録や記録が揃っていない案件は具体的にどの程度あるのか、教育長に伺う。

（答）

令和2年度から現在までの期間におきまして、教育委員会が実施した公募型プロポーザルにより契約の相手方を選定した案件は、合計17件でございます。

このうち、今回、調査対象とした契約は4件ございまして、そのうち、3件で議事録や記録が揃っておりませんでした。

また、これ以外の13件につきましては、議事録等の記録を作成していないものが8件ございました。